

虹芝寮お掃除哲学の心得

虹芝寮は単なる山小舎ではなく教育施設です。建設以来 80 年にも亘って、常駐管理人のいない無人小舎として維持されてきた理由は、「帰るときに来たときより少しだけきれいにして帰る」という約束が守られてきたからに他なりません。利用者 1 人 1 人の善意が積み重なって長い歴史が刻まれてきました。この約束事は、学園創立者中村春二先生の「心の草をとる」というお掃除哲学として知られ、成蹊教育の根幹を成すものです。虹芝寮を利用する全ての人々が気持ち良く利用できるよう、使用にあたっては以下の注意を必ず守ってくださいますようお願いいたします。

清掃・整理整頓について

1. 土間の清掃は、長椅子をいったん外に出すなどして、ストーブ周りを中心に隅々まで丁寧に掃いてください。
2. 板の間は箒で掃いた後、雑巾で水拭きしてください。テーブルや棚等も隅々まで水拭きしてください。但し、天気の悪い時はカビが発生するので、乾拭きだけにしてください。
3. 布団は畳んだとき表になる面の柄を揃え、折り目をきちんと畳み、押入れの中で方向を統一して整然と積み重ねてください。
4. 簡単な浄化槽しかありませんので、洗剤は重曹以外使わないでください。まず食器の汚れを紙で丁寧に拭き取ってから、お湯と重曹で丁寧に洗ってください。ガスコンロ/調理台の清掃も忘れないようお願いします。
5. 鍋等調理具は油が残らぬよう洗い、水が残らぬよう裏返して所定の場所に戻してください。
6. 台所内排水溝は、残飯等が詰まり水捌けが悪くなることがありますので、退寮前に必ず排水溝の詰まりを確かめ、水捌けを確認してください。
7. 台所の床はバケツなどで水を撒きながらデッキブラシで清掃し、隅々まで丁寧に洗い流してください。
8. 使用した雑巾はきれいに洗って、きれいにストーブ横に干してください。
9. 余った食料・調味料・一度封を開けた飲み残しの酒は全て持ち帰ってください。調味料は整理して箱に納まるまでを限度としてください。
10. ストーブの灰は少し残して、あとは捨ててください。
11. トイレの清掃もお忘れなく。トイレは、専用の備付ブラシで便器を水洗いしてください。
12. 使用した分の薪は、焚き付け用/太い薪それぞれの場所に必ず補充してください。
13. 蜘蛛の巣を見つけたら取り除いてください。

上記以外で注意していただきたいこと

1. ろうそくやコールマンランタンを使用する際は、火災に十分ご注意ください。
2. 凍結防止の為 水道は出しっ放しにし、止めないでください。
3. 発電機の使用は虹芝寮整備など、特に許された場合以外は使用禁止です。
4. 生ごみ・プラスチックごみ・不燃ごみは全て持ちかえるようお願いいたします。生ごみは動物が掘り返すので埋めずに持ちかえりお願いします。

器具の故障や生活必需品が不足している場合は、虹芝寮状況報告書に記載して学園にご提出ください。必要に応じて適宜補充します。個人での補充は不要です。

＊＊帰るときに来たときより少しだけきれいにして帰る＊＊

虹芝寮ストーブの灰処理方法

季節により処理方法が異なりますが、下記の様に対応をお願いします。

積雪期間中寮入口近くに廃棄すると、雪解け後入り口近くに灰の山が乱立することになりますので宜しくお願いします。

無雪期：

- * 寮脇の小川の水流に投入する。
- * 小川に流れのない時は、堰の板を外し溜まっている水を放流する。
- * 小川を越えた奥の草地に穴を掘り埋める。

積雪期：

- * 芝倉沢側の斜面下あるいは旧道側流れを超えた奥の広場に廃棄。

共通：

- * 金属製塵取りを用い廃棄する。
- * 灰の中身をチェックし、アルミ箔等の燃え残りは灰と一緒に廃棄せず持ち帰る。
- * 廃棄した灰が確実に消火したことを確認する。

以上